

第3学年2組 道徳科学習指導案

日 時：令和3年11月4日(木) 第5校時

場 所：3年2組教室

指導者：杉原 真悠

本時の授業の視点

視点1 考える必然性や切実感のある発問

○友ちゃんが「もうやめたいなと思ったのに、練習を続けたのはどうしてでしょう。」と発問することで、主人公の強い意志を確認できるようにする。

視点2 物事を多面的・多角的に考えるための交流の在り方

○友ちゃんが、練習を続けようと思った理由を考え、グループで意見を交流し色々な考えに触れさせることで、前向きに頑張るためには様々な要因があることに気付かせる。

視点3 自己の生き方について考えることのできる発問と振り返りの在り方

○「頑張りたいことを続けるために、どんな気持ちで取り組みたいですか？」と発問することで、本時の学習を通して、これから困難に出合ったとき、どのように取り組んでいきたいかを自分事として考えられるようにする。

- 1 主題名 やろうと決めたことは (A-希望と勇気、努力と強い意志)
- 2 教材名 「がんばれ友ちゃん」(「小学道徳 生きる力3年」日本文教出版)
- 3 ねらい 友ちゃんが苦手な逆上がりに取り組み続ける理由を考えることで、自分でやろうと決めた目標に向かって、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。
- 4 主題設定の理由
 - (1) ねらいとする道徳諸価値について
児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。3年生は、勉強や運動だけではなく、様々なことに興味・関心を広げ、活動的になる段階である。自分の好きなことに対しては、自ら目標を立て、継続して取り組むようになり、計画的に努力する構えも身に付いていく。その反面、つらいことや苦しいことがあると、途中で諦めてしまうこともある。そこで、自分がやらなければならないことだけでなく、更に自主性を発揮し、自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもって、粘り強くやり遂げる精神を育てることが大切になる。くじけず努力し続けることで、今よりも自分を高められることに気付かせ、困難に出合ったも前向きに考えようとする心情を育てたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童34名(男子16名、女子18名)は、自分の興味・関心の高いことに対しては、進んで取り組む姿が多く見られる。1学期に行った道徳の授業(「うまくなりたけれど」A-希望と勇気、努力と強い意志)で、苦手なことや今できないことに対して、大切なことは何か話し合ったときには、「諦めずにやってみる。」「挑戦してみる。」など前向きに取り組もうとする意見が多く出た。1学期末に実施した心のクローバーチェックでも、あきらめない心(自分の目標に向かって粘り強く取り組む)の振り返りは、よくできた21人、できた10人、もう少し3人という結果が得られ、クラスの半数以上ができていると感じているようである。しかし、実際には苦手なことや興味・関心が低いものに対しては、取り組む前から、「やりたくない」といった否定的な言葉が聞かれたり、やってみても途中で結果が出ないと、すぐに諦めてしまったりすることも多い。

苦手なことや嫌いなことから逃げずに頑張ることは、自分自身を成長させるということに気付かせたい。

(3) 教材について

本教材は、逆上がりができなかった友ちゃんが、友達や先生の励ましもあり、努力して逆上がりができるようになった場面が取り上げられている。学校生活の中で身近に起こりうることであり、児童にとって友ちゃんの苦悩や頑張りに共感しやすい教材である。1学期に実施した「うまくなりたけれど」を通して、苦手なこともやってみようという気持ちをもつことができたので、さらに本教材では、苦手なことでも、諦めずにこつこつ努力することで、より大きな喜びにつながることに気付かせたい。

(4) 指導の工夫について

指導に当たっては次のことに留意したい。

- ・友ちゃんの顔の挿絵を場面ごとに提示することで、気持ちの変化を捉えることができるようにする。
- ・ハートグラフを用いて、友ちゃんの気持ちや自分自身の気持ちを表し、気持ちの変化に気付くことができるようにする。どの児童も安心して思いを表現できるようにする。
- ・導入部では、現在の自分が頑張っていることを発表させ、ハートグラフを用いて状況を確認、意識付けをする。
- ・展開部では、友ちゃんが練習を続けようと思った理由を話し合わせることで、前向きに頑張るためには様々な要因があることに気付かせる。
- ・自分の考えを付箋に書き、グループで伝え合うことで、友達の考えを視覚的に捉えられるようにする。また、考えをグルーピングすることで多面的・多角的に捉えるようにする。
- ・終末部では、みんなの考えを共有することで、本時の学習を振り返り主人公の姿を自分の生き方に活かそうという気持ちをもつことができるようにする。

5 本時

(1) 準備物 ワークシート・挿絵・ハートグラフ・付箋・画用紙・タブレット

(2) 学習過程

展開	学習活動・学習内容	教師の手立て(○)と評価(◆)
つかむ	<p>1 本時の課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張っていること ・どのくらい挑戦したか 	<p>○2学期の目標について、ハートグラフを用いて状況を確認、意識付けをする。</p>
<p>／</p> <p>深める</p> <p>／</p> <p>まとめる</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">がんばりたいことをつづけるためには、何が大切でしょう。</p> <p>2 あらすじを確認し、友ちゃんの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度やってもうまくいかないときの苛立ちやくやしき ・「あなたのできるわざでいいのよ」と言われたときのくやしき ・もうやめたいなというあきらめの気持ち <p>3 友ちゃんが練習を続けようと思った理由を考え話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【考える必然性や切実感のある発問】 もうやめたいなと思ったのに、練習を続けたのはどんな気持ちがあったからでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でやろうと決めた目標に向かう強い意志 ・今よりよくなりたいという強い願い ・やり続けることの大切さ ・他者からの励ましや称賛による頑張り <p>4 逆上がりができたときの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり切ったときの達成感 ・できるようになったことへの満足感 ・やり続けてきたことの充実感 ・自分への自信感 ・周囲の応援や支えへの感謝 <p>5 自分の生活と関連づけて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【自己の生き方について考えることのできる発問】 頑張りたいことを続けるために、どんな気持ちで取り組みたいですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・諦めない心 ・自分の気持ち 	<p>○運動が得意な友ちゃんが鉄棒だけできないということを押さえ、くやしさに共感させる。</p> <p>○友ちゃんの気持ちをハートグラフで表し、ほっとした気持ちよりも、くやしい気持ちの方が強いことを確認する。</p> <p>○挿絵を提示することで、友ちゃんの気持ちがより伝わるようにする。</p> <p>○友ちゃんの気持ちをハートグラフで表し、諦めてしまいたいという気持ちに共感させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【物事を多面的多角的に考えるための交流の在り方】</p> <p>○友ちゃんの気持ちを付箋に書かせることで、一人一人が自分の考えをもって話し合いに参加できるようにする。</p> <p>○グループで画用紙に付箋を貼っていき、グルーピングしていくことで、多面的・多角的な考えがあることに気付かせる。</p> </div> <p>○グループでまとめた考えを発表させ、モニターで拡大することで、様々な思いを全体で共有できるようにする。</p> <p>◆①〈発言〉</p> <p>○大きな喜びがあったことが分かるように、大きな笑顔の挿絵を提示することで、友ちゃんの気持ちや周りの人の喜びを感じることができるようになる。</p> <p>○今までの自分を振り返ることで、本時の学習を通して、これから困難に出合ったときどのように取り組んでいきたいかを考えられるようにする。</p> <p>◆⑦〈発言・ワークシート〉</p>

6 評価

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか。

- ① 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている。

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか。

- ⑦ 道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。

7 板書計画

がんばれ友ちゃん
⑦ がんばりたいことをつづけるためには、何が大切でしょうか。

友ちゃん
とくいしてつぼうだけ苦手

何度やってもうまくいかない
・なんで、できないんだろう。
・くやしい

「あなたのできるわざで上げればいいのよ」
（ピンク）
・逆上がりができるようになりたい。
・やつぱりくやしい

（ブルー）
・よかった。
・少し安心した。

毎日練習
（ ）
・休み時間 一日目
・ほうか後 二日目
三日目 手には、いくつものまめ
四日目 こつがすこしわかった
体育の時間
もう少しのところでできなかった。

「もうやめたいな」
・こんなに練習したのにできない。
・もう、できないすがたは、見られたくない。
・もう、つかれた。

もうやめたいなと思っただのに、練習をつづけたのはどんな気持ちがあったからでしょう。
・あともう少しだからがんばろう。
・あきらめない
・自分で決めたから。
先生
先生がはげましてくれから。先生にずっとよくなっていると言ってもらえたから。
・おうえん
・春子さんがコツを教えてくださいましたから。
・おうえん
・春子さんがおうえんしてくれましたから。

やった！
うれしい！
がんばってよかった。

がんばりたいことをつづげるためにどんな気持ちで取り組みたいですか。
・自分で決めたことはあきらめずにがんばりたい。
・あきらめない心でがんばる。

がんばれ友ちゃん
三年（ ）組（ ）番 名前（ ）

一 「もうやめたいな」と思ったのに、練習をつづけた理由

二 がんばりたいことをつづげるために、どんな気持ちで取り組みたいですか。

今日の学習はどうでしたか、あてはまるところを○をつけましょう。

しっかり考えた

新しく気づいたことがあった

これから大切にしたいことが分かった